

家畜衛生だより

R4-57 令和5年1月 発行

置賜家畜保健衛生所
置賜家畜衛生指導協会
〒999-2232 南陽市三間通 444
TEL 0238-43-3217
FAX 0238-43-5249

茨城県・宮崎県の養鶏場で 高病原性鳥インフルエンザ確認

今シーズン国内56～57 例目の高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されました。

事例	確認日	農場
56 例目	1月9日	茨城県城里町 (採卵鶏 約93万羽飼養)
57 例目	1月10日	宮崎県川南町 (採卵鶏 約10万羽飼養)



※ 黒塗り：今シーズン発生地

今シーズンの国内における高病原性鳥インフルエンザの発生が 23 道県57事例 約1,008万羽と過去最多の発生となっております。

また、野鳥での発生が例年以上の頻度で確認されており、全国的に環境中のウイルス濃度が非常に高まっていることが想定されます。

農場内へのウイルス侵入防止の観点から、山形県では家きんを一定以上飼養している農場を対象として緊急消毒を実施いたします。今月より順次、各農場に消石灰を配布いたしますので、別紙を参考としていただき、消石灰散布の御協力をお願いいたします。

なお、農場内にウイルスを持ち込むことがないように、再度農場の金網や壁の穴の点検等、飼養衛生管理を確認して下さるようお願いいたします。

◎消石灰の使用方法について

鶏舎周囲を取り囲むように消石灰を散布するのが理想です。

ただし、雪のため消毒効果が期待できない場合、鶏舎出入り口の雪がかからない土間部分に散布するか、あるいは踏み込み消毒槽の中に敷き込んで使用してください。雪が消失したら鶏舎周囲に散布するようにしてください。

散布量の目安:1m²あたり 0.5~1kg、2m幅で散布した場合 1袋あたり 15m 散布できます。



予防対策



- 1 野鳥は感染源となるので、防鳥ネット等で鶏舎への侵入を防ぎましょう。
- 2 関係者以外、農場・鶏舎に立入らせないようにしましょう。
- 3 出入車両、器具・長靴・衣服等の消毒を徹底しましょう。
- 4 鶏舎ごと、器具・長靴・作業衣等はこまめに交換・消毒しましょう。
- 5 ネズミや衛生害虫の駆除を徹底しましょう。
- 6 事前に、導入もとの衛生状況を把握しましょう
- 7 鳥インフルエンザ発生国への旅行は、避けましょう



飼養鶏等に異常があった場合は家畜保健衛生所に早期通報願います！！

0238-43-3217 または 080-1840-0705

※上記いずれの電話番号でも 24 時間対応しています